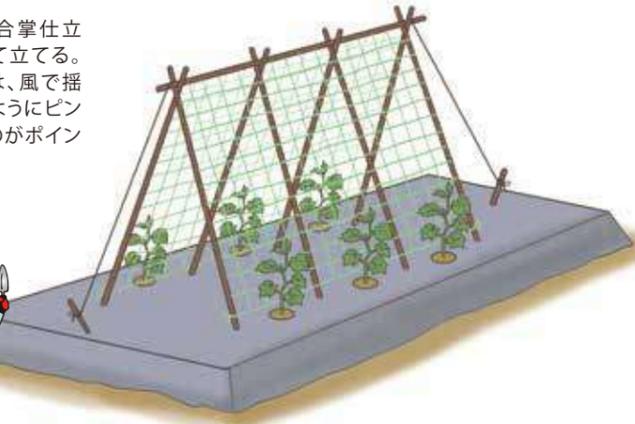


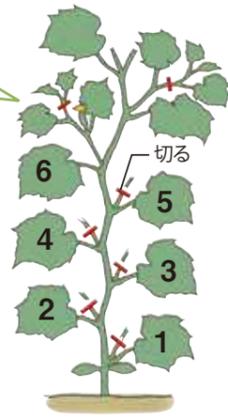
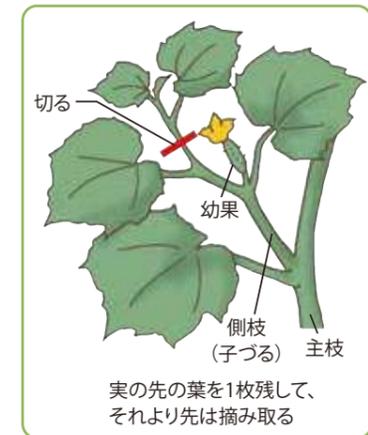
つるの整枝は、5月に苗を植えた場合と同じく、本葉5枚(5節)の脇から出る芽や花をすべて取り除きます。6節目からは子づるを伸ばし、実の先の葉を1枚残してそれより先は摘み取りまじょう。孫づるが出たら、やはり葉を1枚残して先を摘み取ります。

支柱を合掌仕立てにして立てる。ネットは、風で揺れないようにピンと張るのがポイント。



大きくなってきたら、ネットを張ってつるを絡ませていきます。

管理



が、繁茂しすぎて風通しが悪くなり、病気になるやすくなるので注意が必要です。おすすめは、キュウリを1本収穫したら株元の葉を1枚摘む方法です。葉が重なってきたら、収穫した場所の葉を2枚ほど摘んでいきます。

日差しが強くなるよう、梅雨入りごろからマルチの上に敷きわらをして温度が上がり過ぎないようにしましょう。

初収穫のころから追肥を始めます。うねの肩の部分に2週間に1回の割合でやりまじょう。マルチを剥ぐのが大変なら、園芸支柱などで株間のマルチに穴をあけ、その穴に肥料を入れるとラクです。



なり疲れを防ぐため、特に株が小さいうちは早めの収穫を心掛けまじょう。あつという間に大きくなるので、取り残さないようにします。

収穫



マルチに穴をあけ、その穴に肥料を入れる

おすすめ資材

グリーンスキットシャワー (2ℓ) 998円(税込)

さまざまな野菜や果樹、樹木の周りにそのまま使える除草剤! 素早い効き目で雑草を枯らします。液剤が土に落ちると速やかに自然物に分解されるので、散布後に種まきや植え付けをしても大丈夫。畑のうね間に使えるのがとても便利!

〇お求め・お問い合わせは、グリーンファーム各店までどうぞ。



ほうさくClub! に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

- ◎中央店 ☎29-8177
- ◎東部店 ☎62-0665
- ◎西部店 ☎22-4091
- ◎さなだ店 ☎72-8072
- ◎まるこ店 ☎42-2977
- ◎よだくぼ南部店 ☎85-2400
- ◎しおだ店 ☎39-8118

気軽に家庭菜園



ほうさくClub!



「キュウリ」に挑戦!

★これがキュウリのスケジュールだよ。

Calendar

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					種まき			収穫			

※6月に種をまく場合のスケジュールです。

- 施肥基準 (1㎡あたり・一例)
- 苦土石灰100g
- 堆肥3kg
- BBN552号100g
- BB追肥N30号20g×数回

⚠ 文中の肥料等は一例です。地区によっては違う種類で対応している場合もあります。不明な点は、営農技術員にお問い合わせください。

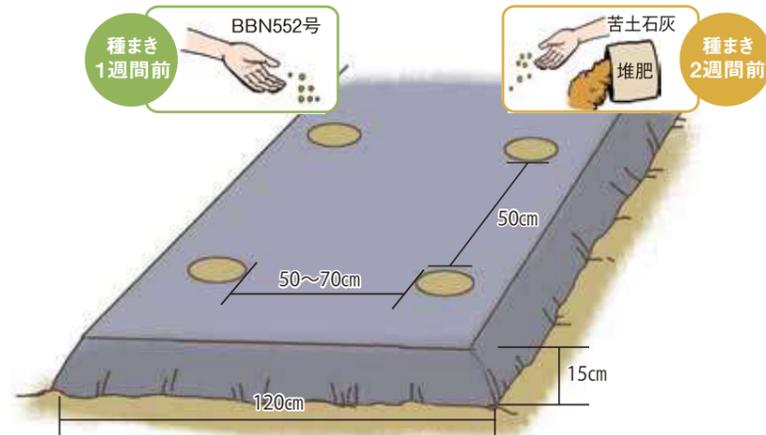
日本の夏の食卓には欠かせないキュウリ。畑でかじるキュウリは、水分補給にもついでです。むくみをとったり体を冷やすことも知られています。なんとこれも取れたてキュウリの菌触りと香りが最高です! 香りといえば、日本ではあまりなじみがありませんが、海外では「青っぽい爽やかな香り」としてキュウリの香水が好まれています。夏のポディローションなどにも使われ、清涼感を演出しているそうです。やっぱり夏はキュウリですね。

5月上旬ごろに苗を植えることが多いと思いますが、病気や、なり疲れで意外と早く収穫が終わってしまいがちです。時期をずらして栽培すると、簡単に真夏に収穫できます。気温が上がっているので種を畑にまいて育てられます。

畑の準備



種まきの2週間前に苦土石灰と堆肥を、1週間前に化成肥料をまいて耕します。幅120cm、高さ15cm程度のうねを作ります。うねが十分湿っている時にマルチを掛けます。土が乾いているようなら、種まきの前日に植穴にたっぷり水をやり、湿らせておきまじょう。



株間は50cm、条間は50~70cm取りまします。マルチに穴をあけ、種を2~3粒ずつまきます。覆土は5mm~1cmの厚さにし、手のひらで軽く押さえます。その後優しく水やりをしまじょう。防虫ネットを掛けておくと、ウリハムシなどの被害が抑えられるので安心です。本葉が出てきたら1本に間引きまします。

種まき・間引き